

## 本プランの位置付け・ポイント

【計画期間 令和元年度～令和5年度（5か年）】

I. 本プランは「第2次鶴岡市総合計画」の**食や食文化の分野に係る実施計画**であり、総合計画の「**食文化・食産業創造プロジェクト**」を推進する計画。

I'. 本プランは、市民が本市の豊かな食文化を享受し、学び、次世代へ継承する取組を加えた法に基づく**食育・地産地消を推進する計画**。

※食育基本法、六次産業化・地産地消法に基づく計画

II. 本プランの推進により食文化を生かした地域活性化を図るとともに、**国内唯一のユネスコ食文化創造都市として、食や食文化に係る分野でSDGsへの貢献につながるよう取組を進める**。

※SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）は2015年に国連が採択した2030年までの国際目標。17の目標が掲げられる。

II'. 本プランは、ユネスコ食文化創造都市として4年に一度ユネスコに対し提出義務がある「**モニタリング報告書**」の**基礎資料として活用**。

※モニタリング報告書は4年間の活動報告と今後の計画をまとめ、ユネスコに報告するもの

## I 基本理念と基本目標、成果指標

基本理念を「食の理想郷へ」とし、3つの基本目標と88の具体的取組、5つの成果指標（アウトカム）を定める。

(1) **基本理念** 食の理想郷へ（Land of Food Creativity）

(2) **3つ基本目標と取組数**

- ①食文化の伝承・創造と共に歩む産業振興（取組数-33）
- ②食文化を生かした交流人口の拡大（取組数-12）
- ③食文化による地域づくり（取組数-43）

(3) **5つの成果指標**

NO.	項目	現状値	目標値
1	農業産出額	313億円(H29)	360億円(R5)
2	水産業の生産額	14億円 (H27~29平均)	15.5億円(R4)
3	食料品製造業の製造品出荷額等	335億円(H28)	355億円(R4)
4	観光入込客数	630万人(H29)	760万人(R5)
5	家庭や地域の行事等において食文化に触れ、食した市民の数	-	全市民(R5)

## II SDGs 目標に貢献する取組の関連性

本プランに掲げる各取組がSDGsのどの目標に貢献するか、プランに明記。  
⇒本プランの取組…**SDDs17の目標のうち7項目に貢献**



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

### ■食文化創造都市の取組が貢献するSDGsの目標

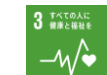
【SDGs 目標】 【達成に特に貢献する取組例】 【SDGs 目標】 【達成に特に貢献する取組例】



目標2（飢餓）

#### 【安全安心な食料生産体制システムの構築】

- ・有機農産物の生産拡大支援
- ・スマートテロワール事業への支援



目標3（保健）

#### 【食育・健康づくり】

- ・乳幼児期の望ましい食習慣の普及啓発
- ・8020運動の推進



目標4（教育）

#### 【次世代への食文化の継承と学校給食】

- ・庄内農業高校、加茂水産高校への支援
- ・食文化創造都市特別献立やオール鶴岡産給食の実施



目標8（経済成長・雇用）

#### 【食のブランド化と人づくり】

- ・料理人講座等の研修支援、料理競技会
- ・農産物のブランド化、GI制度、農産物の輸出促進
- ・食品製造業の新商品開発支援、コンテスト開催



目標12（生産と消費）

#### 【環境への配慮】

- ・食品ロス削減に向けた普及啓発
- ・外食時の食べきり運動の推進



目標14（海洋資源）

#### 【水産資源の保全】

- ・水産物の安定供給（蓄養等）の推進
- ・学校給食での水産物の利用拡大



目標17（実施手段）

#### 【知識とノウハウの共有】

- ・食文化研修プログラムの実施
- ・豊かな食の郷土づくり研究会、食文化カンファレンスの開催による地域間連携